授業科目　障害者福祉論Ⅱ

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	社会
丸田　秋男	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概　要】

わが国の障害保健福祉施策は大きな改革を迎えようとしている。障害者福祉の歴史的展開や障害保健福祉施策の現状を体系的に理解した上で、発達障害者支援法や障害者自立支援法等の新たな法整備に対応出来る実践的な知識と課題解決の方法等を総合的に学習する。

【学習目標】

1. 現行の障害保健福祉施策と保健福祉サービスの内容を体系的に理解する。
2. 三障害の一元化に向けた法整備の内容と新たな保健福祉サービスを理解する。
3. 当事者主権の視点に立った地域生活支援と障害者ケアマネジメントの方法を理解する。
4. 介護保険や保健・医療、雇用、就労支援、所得保障等の施策と関連づけて総合的に理解する。

回数	授業計画又は学習の主題		SBO番号	学習方法・担当教員
1	オリエンテーション	障害者福祉論Ⅰの授業内容の理解を確認する。		講義
2	障害保健福祉施策の体系	法の体系、新しい法整備について学ぶ。		
3	障害保健福祉サービス体系①	身体障害者のサービス体系とその内容について学ぶ。		
4	障害保健福祉サービス体系②	知的障害者のサービス体系とその内容について学ぶ。		
5	障害保健福祉サービス体系③	精神障害者のサービス体系とその内容について学ぶ。		
6	障害者ケアマネジメント	障害者ケアマネジメントの原則と方法について学ぶ。		
7	障害者福祉の関連施策①	障害者の医療、教育、雇用、所得保障等について学ぶ。		
8	障害者福祉の関連施策②	障害者の住宅、生活環境等について学ぶ。		
9	介護保険と障害保健福祉施策	介護保険と障害保健福祉施策との関係について学ぶ。		
10	障害者運動と当事者主権	障害者運動と当事者主権の現状と課題について学ぶ。		
11	障害者に対する相談援助活動	障害者に対する相談援助活動の実際について学ぶ。		
12	事例研究①	事例研究を通して施策とサービス体系を総合的に学ぶ。		（講義と演習）
13	事例研究②	事例研究を通して施策とサービス体系を総合的に学ぶ。		（講義と演習）
14	まとめ			

【使用図書】	〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈発行年・価格・その他〉
教科書	障害者福祉論	福祉士養成講座編集委員会	中央法規	2006・2500円
参考書	社会福祉小六法 2006	ミネルヴァ書房編集部	ミネルヴァ書房	2006・1600円
その他の資料	必要の都度配布する			

【評価方法】

①出席、②レポート又は小テスト、③期末試験を総合して評価する。

【履修上の留意点】

① 社会福祉学科2年次との合同授業となる。

② 社会福祉士国家試験指定科目（専門科目）であるので、国家試験対策という観点からも目的意識を明確にして主体的かつ積極的に学んでほしい。